

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年6月15日

| | | | |
|-------|---|------------|------|
| 氏名 | [REDACTED] | | |
| 所属 | 外国語学部 ([REDACTED]) 研究科 | スペイン語学科・専攻 | 4年次 |
| 派遣先大学 | サラマンカ大学 Cursos Internacionales (Modular program) | | 8ヶ月間 |

以下の項目に入力・選択をしてください。なお、この調査は個人情報（名前等）を削除した上で、これから留学する学生並びに留学を考えている学生に公開させていただきます。

I. 留学先での住居について

| | | |
|----|---------------------|---|
| 1 | 住居形態は 何でしたか？ | <input type="checkbox"/> 学内寮 <input checked="" type="checkbox"/> 学外寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他 (シェアハウス) |
| 2 | 住居形態の詳細を教えてください。 | 例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど (ホームステイ: ルームメイト 3人 (カナダ、フランス、中国) シェアハウス: ルームメイト 5人 (スペイン3、イタリア、ペルー)) |
| 3 | 入居時手続き | 例: Housing Office でデポジットを払い、学生寮の受付で鍵を受け取る (最初の 3ヶ月間は学外寮を利用、渡航前に国際センターを通して事前に予約し海外送金にて全額を前払い。寮入居時は名前の確認のみで手続き等は特になし。) |
| 4 | 費用 (月額) | 637.5 (ユーロ) (食費 食費含まない/月) |
| 5 | 支払方法 | 学外寮: 海外送金にて3ヶ月分を一括払い ホームステイ: 現地オフィスにてクレジット払い シェアハウス: 月ごとに現金払い (例: 月ごとに現金で、クレジットカードなど) |
| 6 | 住居に附属する設備 | <input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input checked="" type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 (※個別トイレ・シャワー、食堂は寮にのみ附属) |
| 7 | 住居選択方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input checked="" type="checkbox"/> その他 (シェアハウスは現地のアプリ idealista を利用) |
| 8 | 周囲環境 | 例: 近隣のスーパーなどの大きさ、駅・バス停からのアクセス、など (サラマンカの旧市街は小さい街なので、電車やバス等を利用しなくても徒歩 30分圏内で不自由なく生活することが出来ます。また大学街のため若い学生が多く活気があります。) |
| 9 | アクセス | 例: 大学からの距離・アクセス方法、駅・バス停からの距離・費用 (学外寮、ホームステイ、シェアハウス共に徒歩 15分以内) |
| 10 | 留学中の住居に関して アドバイス | (今後留学をする学生に対して): (大学に紹介してもらった寮やホームステイに比べ、自分で探すシェアハウスや民間アパートなどのように現地で探した方が安いことが多いです。) |
| 11 | 引越された方は引越 | <input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート |

| | | |
|----|---------------------|--|
| | し先の住居形態を記入 ください。 | <input checked="" type="checkbox"/> その他 (シェアハウス) |
| 12 | 詳細を教えてください | 例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど () |

II. 通信環境について (該当の項目を選択、または入力してください。)

| | | |
|---|-----------------|--|
| 1 | 日本キャリアの携帯電話 | 持参した |
| 2 | 現地キャリアの携帯電話 | 現地でSIMカードを購入 |
| 3 | 現地携帯電話の取得手続きの方法 | 例: ショッピングモールの電気屋に行きSIMを購入 (Vodafoneにてプリペイド式SIMカードを購入) |
| 4 | 自宅のインターネット接続環境 | 無線 (プロバイダは別途契約) |
| 5 | 大学内インターネット接続環境 | 無線 (大学または寮へのLAN接続) |

III. 留学費用について

| | | | |
|------------------------------|--|-----------------------------|---------|
| 諸経費 (1ヶ月の平均) | | ※現地通貨で記入。() 内に通貨単位を記入すること。 | |
| 1 | 宿舍費 | 637.5 | (€) /月 |
| 2 | 食費 | 200 | (€) /月 |
| 3 | 交通費 | 0 | (€) /月 |
| 4 | 通信費 | 15 | (€) /月 |
| 5 | 娯楽費 | 350 | (€) /月 |
| 6 | 図書費 | 0 | (€) /合計 |
| 7 | 学用品 (教科書など) | 0 | (€) /合計 |
| 8 | 被服費 | 30 | (€) /合計 |
| 9 | 医療費 | 0 | (€) /合計 |
| 10 | 雑費・その他 | 0 | (€) /合計 |
| 上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む) | | ※日本円または現地通貨で記入。 | |
| 11 | 出願料・宿舍デポジット | 200 | (€) /合計 |
| 12 | ビザ申請関連費 | 0 | (円) /合計 |
| 13 | 航空券代 (休暇時旅行費用は除く) | 187,530 | (円) /往復 |
| 14 | その他 | 1726,25 | (€) /合計 |
| 15 | 留学全日程に要した総額 (概算) | 1,000,000 | (円) /合計 |
| お金の持って行き方 | | | |
| 16 | <input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 5万円) <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名:) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (VISAクレジットカード 2枚) | | |

| | | |
|----|--------------------------------|--|
| 17 | 現地で銀行口座開設 | していない |
| 18 | 手続き方法・利点・欠点 | |
| 19 | お金に関するアドバイス (今後留学をする学生に対して) | 小さい金額での支払いなどでカードが使えない場面も多く、私は思っていた以上に現地通貨を利用しました。現地で口座を開設しなくても VISA や MASTER カードをつくっておけば ATM で現地通貨をすぐに引き出すことができ便利です。クレジットカードだと利息がかかってしまうので、デビットカードやプリペイドがおすすめです。 |

IV. 保険・医療について

| | | |
|---|---|------------------------------|
| 1 | 海外旅行（留学）保険の種類（例：L2プラン） | C18 プラン (8 か月分で 81,520 円) |
| 2 | 留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？ | いいえ |
| 3 | (2で「はい」を選んだ場合のみ記入) 海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？ | 選択してください。 |
| 4 | (3で「受けた」を選んだ場合のみ記入) どのような方法で適用を受けましたか？ | 選択してください。 その他 () |
| 5 | (4で「受けることができなかった」を選んだ場合のみ記入) 適応されなかった理由はなんですか？ | |
| 6 | 日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか？理由は何ですか？ | 花粉症のための薬等 |

V. 持ち物について

| | | |
|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1 | 日本から持っていったもの | 咳止めの薬、栄養剤、爪切り、生理用品 |
| 2 | 現地で購入したもの | 傘、ハンガー、洗濯ばさみ、薄い掛け布団 |
| 3 | (自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの | 置き時計、お箸、バスマット、ビーチサンダル、ルームシューズまたはスリッパ |

VI. 留学先で困ったこと

暖房は各部屋ごとではなく1カ所で管理されるので、温度を自分で設定することが出来ません。これは寮、ホームステイ、シェアハウスでも同様でした。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

行ってみないとわからないことの方が、圧倒的に多かったです。実際に行って、体験して、その環境に順応していく過程を楽しみながら生活できたら最高だと思います！

ご協力ありがとうございました。留学状況のより良い把握のため、留学志望者の参考となる写真（大学・授業の様子、設備、街、宿舎などの写真）を添付して提出してください。

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

| | | | | |
|--------------------|---|-----|---------|------|
| 所 属 | 外国語学部 | 学 科 | スペイン語学科 | 4 年次 |
| 氏 名 | | | | |
| 派遣先大学 (国) | サラマンカ大学 (スペイン) | | | |
| 所属プログラム・ 学部・研究科 | Cursos Internacionales (Modular program) | | | |
| 留学期間 | 2018 年 9 月～2019 年 5 月 | | | |
| 報告書提出日 | 2019 年 6 月 15 日 | | | |

学修について

1.1. 学期区分

| 学期 | 授業期間 | 試験期間 | 履修登録するまでの過程 |
|------------------------|----------------------------------|----------------------|--|
| 【記入例】 Fall Semester | 9 月 21 日 ～1 月 21 日 (14 週) | 1 月 24 日 ～2 月 1 日 | 英語力の結果、本科の授業履修が認められたので、教務課でシラバスを貰いオンラインで登録。オリエンテーション期間として最初の 1 週間は履修登録を加除できる。XX 先生に相談し、…… |
| Fall Semester | 9 月 24 日 ～12 月 14 日 (12 週) | 12 月 10,11 日 | 留学前に派遣先大学へ提出する出願届に、秋・春学期のそれぞれ希望する履修科目を選択する。渡航後、授業開始から 1 週間後までであればクラス、科目共に変更が可能で、すべて現地オフィスに行って相談する。定員に達している場合は変更できないこともあるので注意が必要。シラバスは HP で閲覧できる。 |
| Spring Semester | 1 月 28 日 ～5 月 16 日 (16 週) | 5 月 13, 14 日 | |

1.2. 履修科目・内容 (数字は半角で直接入力してください)

| 学期 | 履修科目名 | 合計時間 | 履修内容・授業での取り組み ※欄は自動で大きくなるので、十分に記入してください。 |
|------------------------|-----------------------------|----------------------|--|
| | | (内訳) | |
| 【記入例】 Fall Semester | International relations IIB | 30 時間 | 講義が月曜日に 90 分、演習が木曜日に 90 分。内容としては講義は……。演習は……。中間試験・期末試験の勉強としては……。レポートは……。 合計時間の計算方法は[⑥] 【参考資料】授業時間数に |
| | | 1 (時間/回) × 3(回/週) | |

| | | | |
|-----------------|--------------------------|--|--|
| | | × 10(週) | ついて]をご参照ください。 |
| Fall Semester | Lengua española | 45 時間 2 (時間/回) × 2(回/週) × 12(週) | 講義形式で行われる文法の授業。プログラムの初日にプレイメントテストが行われるため、自分のレベルに合ったクラスで受講できる。文法の単元はクラスによって異なるが内容は大学の授業と比べてもほとんど変わらない。演習問題は課題として出題されるだけでなく、授業の中でも扱うが、問題の難易度は決して高くない。中間および期末試験は授業で扱った範囲内で出題されるので配布されるプリントを復習すれば十分に解くことができる。 ※2 回の休講と、休憩時間が各回 10 分程度あったため、履修時間の合計は成績表記載の通り計 45 時間です。 |
| Fall Semester | Conversación y Redacción | 45 時間 2 (時間/回) × 2(回/週) × 12(週) | 主に参加型の授業。実用的なテーマをもとにいくつかの定型表現を学び、そのあとでペアもしくはグループになってオリジナルの文章を作り、発表する。また商品の PR をしたりスペインの各都市やお祭りについてプレゼンしたりと毎回取り扱うテーマは異なる。いずれもその日のテーマに沿って文章を考え発言する。中間・期末試験もこの延長で行われ、筆記試験はないが模擬裁判などの難易度が高いテーマが扱われる。 ※2 回の休講と、休憩時間が各回 10 分程度あったため、履修時間の合計は成績表記載の通り計 45 時間です。 |
| Fall Semester | Spanish Culture | 45 時間 2 (時間/回) × 2(回/週) × 12(週) | 講義形式の授業で、スペインの文化について英語で受講する。毎回授業の初めにアプリを使った選択式クイズを行い前回の復習としている。これに重要なポイントがまとめられているので試験勉強としても利用できる。中間・期末試験とは別に計 3 回のプレゼンテーションがあり、英語もしくはスペイン語で発表する。テーマはスペイン国内の世界遺産、自治州、フィエスタについて。 ※2 回の休講と、休憩時間が各回 10 分程度あったため、履修時間の合計は成績表記載の通り計 45 時間です。 |
| Spring Semester | Lengua española | 45 時間 1.5 (時間/回) × 2(回/週) × 15(週) | 秋学期とは異なって主に参加型の文法の授業。授業の冒頭で活用とその使い方について軽く復習したあと、その文法を使って自分の身近なことから文を考えたり発表したりする。内容は直説法過去時制から入り、主に接続法現在・過去を重点的に復習。接続法の使い方や直接法と接続法の使い分けについて理解を深める。 |
| Spring | Literatura | 45 時間 | 基本的に講義形式の授業で、ラテンアメリカの文学について |

| | | | |
|-----------------|--------------------------------------|-----------------------------------|---|
| Semester | hispanoamericana | 1.5 (時間/回) × 2(回/週) × 15(週) | て、16～20 世紀頃の各時代を代表する作者・作品について学ぶ。当時の文学とは主に詩であり、現代スペイン語とは異なる単語、表現等も現れるので、作品の内容を理解するだけでも難しい。さらに作者の意図について自分の意見を求められることもあるため難易度は非常に高い。90 分の授業で1つ以上作品を読むこともあるので進度は早い。 |
| Spring Semester | El mundo árabe en el mundo hispánico | 45 時間 | 講義形式の授業。現代までスペインに残るイスラム教の影響について歴史、文化、芸術、建築、文学、言語と様々なテーマで学ぶ。スライドや映像資料も頻繁に使用され理解を深めやすい。課題として、計 3 回レポートを提出。中間・期末試験では選択問題の他に記述試験が出題されるため、暗記するだけでなく自分の言葉で説明できるように復習する必要がある。 |
| | | 1.5 (時間/回) × 2(回/週) × 15(週) | |
| Spring Semester | Arte español | 45 時間 | 基本的には講義形式の授業だが、授業内でペアもしくはグループワークが課されることもある。内容はスペインの絵画、建築、彫刻といった様々な芸術作品を、時代背景とともに学んでいく。毎回配布されるプリントが授業ノートのようになっていて、スライドを見たり解説を聞いたりしながら穴埋め形式でメモを取る。専門知識がなくても、スペイン美術について広く浅く学ぶことができる。 |
| | | 1.5 (時間/回) × 2(回/週) × 15(週) | |
| | | 時間 (時間/回) × (回/週) × (週) | |

※表の行が足りない場合は、必要な数だけコピー&ペーストで増やしてください。

1.2 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について（授業全般を通して記入）

初めての海外留学ということで、特に初めの3ヶ月くらいは、わかることよりもわからないことの方が圧倒的に多かったです。でもそれは当たり前のことなので、重要なこととそうでないことを区別することを心がけていました。例えば、授業中は先生が黒板に書いたこと、繰り返し言っていた単語やフレーズ、特に時間をかけて解説していたところなどをチェックして、プリントはあとから復習として読んでいました。事前にプリントが配布されたときは、予習としてわからない単語を調べたり重要そうなところをチェックしたりしてプリントを読み込んで、授業中は先生の話に集中できるようにしました。授業内容のすべてを聞き取れなくても、重要なポイントさえ押さえておけば試験でも十分に対応できました。

1.3 語学力について（留学前や留学当初に比べての成果、留学中の取り組みを、内容ごとに分けて記入）

留学当初は、現地の人の話すスピードに全くついて行くことが出来ずほとんど何も聞き取ることが出来ない状態でした。留学前に挑戦した語学試験 DELE の A2 では面接試験で苦戦し不合格だったため、今回の留学の目的として特にスペイン語での「話す力」の向上を掲げていました。しかし、相手が何を伝えたいのか理解出来なければ当然コミュニケーションを図ることは難しく、「話す力」の向上も見込めないと思いました。また、より自然な口語表現を習得するには現地の人が使う単語や表現を聞き取り、それを自分が積極的に使用することで身に付けられるのではないかと考えました。それからの3ヶ月間は毎日がリスニングの授業でした。初めは1単語1フレーズしか聞き取ることが出来ず、授業も配布されるプリントを読まなければ内容を理解することが出来ませんでした。授業中は常に集中して聞き取ることを意識し続け、聞き取れたフレーズを頭の中で繰り返したり、そのままプリントにメモしたりするうちに、次第に耳がスペイン語に慣れてきているのを感じました。3~4ヶ月が過ぎた頃には、授業のほとんどが聞き取れるようになり、プリントを事前に読み込まなくても内容を理解することが出来ていました。聞き取ることが出来ない場合でも、自分が何を聞き取れていないのか、何の単語がわからないのかを理解することが出来ました。

最終的な目標であった「話す力」の向上においては、自分が伝えたいことを十分には表現することは出来なくとも、意図することを自分が知っている単語と表現だけで伝えられるようになったことは大きな成果だと思っています。

1.4 研究について（※大学院生のみ記入）

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果(学修内容と取り組みから得た成果を、内容ごとに分けて記入)

私はスペイン語の演習科目の他に、スペインの文化について幅広く学びました。

神奈川大学スペイン語学科のカリキュラムには、1～3年次のB群科目にスペインとラテンアメリカの文化について学ぶことが出来る講義科目が充実しており、私も留学する前の3年次前期までそれらの科目を選択して履修していました。そのためスペインの歴史、文学、言語などについて、ある程度学んだ上で留学を開始することが出来ました。このことが現地での学習意欲、成果の差に大きく影響したと思っています。例えば、スペイン各地の地名やそこで話されている言語の違い、バルセロナのあるカタルーニャ地方が抱える独立問題等、耳にしたことのある言葉であったり出来事を、留学先で初めて知るよりも、予備知識があったことで現地に行ってから、理解をより深めることに繋がりました。

一方留学先で初めて学ぶこともたくさんありました。長い歴史の過程で、様々な文化が交ざり合い、現在のスペインがあります。中でも特徴的なのはスペイン南部のアンダルシア地方で、かつてはイスラム教徒がこの一体を支配していました。そのため現在でも、言語を始め人々の生活のなかにはイスラム教徒が及ぼした影響が強く残っています。私は近年のイスラム国問題でイスラム教という宗教にマイナスのイメージばかり持っていました。イスラム教徒が及ぼしたスペインへの影響について学び、そのイメージが大きく変わりました。また、大学では履修できないスペイン美術についても学び、とても興味深かったです。スペインにはベラスケスを始めゴヤ、ピカソといった有名な画家がたくさんいます。時代とともに変化する芸術家たちの在り方や、絵画に込められた作者の想い、新たに生まれる表現技法など、美術に関する知識などほとんどなかった私が、今までは考えたこともなかったような視点で、1つの美術作品を鑑賞することが出来るようになりました。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス (内容ごとに分けて記入)

学修面の反省としては、スペイン語を「話す」ことにもっと積極的になれなかったことです。

スペイン語に耳も慣れ始めて聞き取りに自信が持てるようになってからは、スピーキング力の向上を目指して取り組んでいました。しかし授業は講義形式が主であったため、クラスの中でスペイン語を話す機会というのは非常に限られていました。また私が所属していた **Modular program** の約9割がアメリカ人学生だったため、英語でコミュニケーションをとる彼らの中になかなか入っていくことが出来ませんでした。もともと社交的な性格ではないので、自分からましてスペイン語で話しかけるということには少し抵抗があり、クラスではずっとスピーキングの練習の機会を得られない状態が続いていました。1ヶ月半のホームステイによって話す機会をつくったりもしましたが、結果的に、スピーキングは思うように伸びませんでした。それでも学校の外では当然、カフェやスーパーを始め旅行先でもスペイン語を使用し、必要最低限で伝えたいことは伝わります。頭で考えるより先にスペイン語が出てくるようにもなりました。しかし話せるようになるというのは、ある程度長いフレーズで、1つの物事について説明できるくらいの力が必要だと思います。

留学先では、与えられた環境だけではなく、自分から話す機会をなるべく多くつくることが重要だと思います。そして、思ったり考えたりしたことはなるべく口に出すことです。言う必要がないと思うことでも、とにかく積極的に自分の気持ちを言葉にすることが、スピーキング力の向上には効果的であると私は思います。

2.3. 留学生活で得られたもの (学修を除く、留学生活で得た成果)

私は今まで1人暮らしをしたことがなかったので、家族はもちろん親しい友人とも、こんなに長い間離れて生活するのは初めてでした。会いたい時に、簡単には会うことのできない環境の中で、大切な人たちが常にそばにいてくれることの温かさを本当に強く感じました。留学中、何か嬉しいことがあった時、もの寂しくなった時、日本で話題になっていることが気になった時、連絡をすれば必ず返信が返ってくることに私にとってひとつの安心材料だったと思います。留学を通して、日本にいる家族や友人だけでなく、留学先で出会った日本人も含め、留学生、先生、ホストマザー、ルームメイトなどたくさんの人たちの助けを得て、自分が日々様々な人の手を借りながら生活していることや人の優しさや温かさに気付くことができました。日本にいれば自分で解決できるような問題も誰かに聞かないとわからなかったり、解決できなかったり、何か困難なことに直面したときもたくさんの人の支えがあったからこそ乗り越えることが出来たと思っています。改めて、自分1人では決して成し得なかったこの留学という貴重な経験が、両親をはじめ友人、国際センターの職員さんや留学先で出会ったすべての方のお陰であり、心から感謝を申し上げたいと思います。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス（内容ごとに項目を分けて記入）

留学生活の反省点としては、自分の健康管理をうまく出来なかったことです。初めての1人暮らしということもあり今まで自炊をしたことがなく、留学先では外食をしたりすぐに食べられるものを買って来たりと体に良くない食生活が続いていました。そのせいもあって渡航前と比べ帰国したときには体重が5kg以上は増加していました。バランスの良い食事と適度な運動が大事だと考えてはいましたが、日本にいたときには意識したことがなかったことなので、スペインに行ってからいきなり実践するとなると、根気が足りなかったと思います。健康管理に限らず、日頃から行っていることでないと渡航して環境が大きく変わったあとではそれを新しい習慣に変えるのはなかなか難しいことだと思います。日頃の学習時間や生活習慣は、渡航前にある程度リズムを整えておくと良いと思います。また、毎日自分が行っているルーティンのようなものがあれば、それを留学先でも続けられるようにすると良いです。私の場合は、それがサプリメントとお風呂上がりにする一連のスキンケアでした。留学先に行って生活のリズムが変化しても、日本で日常的にやっていたルーティンがあるとそれがリラックス効果に繋がって、落ち着くことが出来るのでおすすめです。

※作成できましたら国際センターまで、Feelnoteのプロジェクトよりご提出ください。

※ファイル名を、神奈川大学派遣交換留学修了報告書（派遣先大学・氏名）に変えてください。